

令和8年度第1回香川県国民健康保険運営協議会 会議録

1 日 時 令和8年8月26日（水） 13:30～14:20

2 場 所 香川県庁本館12階 大会議室

3 委員の出席状況

〔出席委員11名〕 網谷委員、岩崎委員、大橋委員、大森委員、梶原委員、木村委員、
久米川委員、近藤委員、高松委員、豊嶋委員、松尾委員（会長）

4 事務局出席者

健康福祉部 長尾部長

健康政策課 福家課長、吉本室長、海野室長補佐、淵田室長補佐、多田副主幹、
井上主任

5 傍聴者 4名

6 議事内容

各議題の審議等について

議題1 香川県国民健康保険事業特別会計決算について

事務局から、議題1（資料1）について説明を行った。

議題2 香川県内市町国保の運営状況について

事務局から、議題2（資料2）について説明を行った。

【主な意見、質疑等】

- | | |
|---------|--|
| （委 員） | 観音寺市において収納不足が生じ、財政安定化基金から貸付を行うこととなった要因は何か。 |
| （事 務 局） | 観音寺市においては長らく保険税率の改定が行われておらず、被保険者数の減少に伴い、現行の保険税率では確保できる保険料総額が減少していた。適切に税率の改定を行って解消していくものと考えている。 |

議題3 県における取組みについて

事務局から、議題3（資料3）について説明を行った。

議題4 第2期香川県国民健康保険運営方針中間見直しの骨子(案)及び素案(たたき台)について

事務局から、議題4（資料4）について説明を行った。

審議の結果、第2期香川県国民健康保険運営方針中間見直しの骨子案については、字句修正等を会長に一任の上、原案のとおり承認された。素案たたき台については、本日の意見を反映した上で第2回運営協議会（書面開催）にて審議することとされた。

【主な意見、質疑等】

- | | |
|-------|---|
| （委 員） | 本県の保険料収納率が全国平均より低いとのことだが、収納対策として何か効果的な取り組みはあるか。 |
|-------|---|

- (事務局) 専門的な職員研修を実施するほか、口座振替の推進キャンペーンを行って、口座振替の利用拡大を図っている。他の医療保険制度では、年金や給料からの天引きにより自動的に収納されているが、国民健康保険は保険料を集める必要があり、口座振替の推進が収納対策として効果的であると考えている。
- (委員) 1人当たり医療費が増加傾向にある原因について、県がどう分析しているか。また、1人当たり医療費の増加傾向への対策をどのように行うのか、運営方針における対応関係を伺いたい。
- (事務局) 1人当たり医療費は、物価上昇や医療の高度化に伴って増加している。県は市町と連携し、保健事業による重症化予防を進めるとともに、収納率向上によって適正に保険料を確保する等、1人当たり医療費の伸びに対して、保険料負担の増加を抑制できるよう取り組んでまいりたい。
- (委員) 国の「保険者努力支援交付金」について縮小が取り沙汰されているが、県として情報はあらか。縮小されれば、交付金収入が減るだけでなく、市町が地域課題等に応じて独自に取り組む保健事業が縮小する懸念がある。
- また、この保険者努力支援事業について、香川県や各市町は、全国的にも頑張っている方であり、成果を住民にも広く周知・広報してはどうか。
- (事務局) 財務省の提言等はあるものの、厚生労働省側では同額計上していると伺っている。成果の周知・広報については、今後の参考にさせていただきたい。

議題5 その他

事務局から、マイナ保険証利用状況等（資料5）について説明を行った。

【主な意見、質疑等】

- (会長) 資格確認書を送付する際の手間や事務経費等の負担状況はどのようになっているか。
- (事務局) マイナ保険証を所持していない方の割合が徐々に減ってきているため、事務負担としては少しずつ軽減傾向にあると考えている。今後、保険料統一に向け、事務軽減についても検討していくことになると思う。
- (委員) マイナンバーカードの電子証明書の有効期限切れに伴う職権交付や更新の周知について、国保ではどのような対応・周知活動を行っているか。
- (事務局) 期限切れ前の案内等については国の通知等に基づき市町において実施されているが、国保における具体的な周知状況等については各市町の事務となっているため把握できていない。
- (委員) 電子証明書の有効期限切れ対応に苦慮しており、全国的な広報の実施について国保側からも国へ要望していただきたい。

「以上」